



人と環境に優しい中央区を目指して

2022. 1月 第23号

新年あけましておめでとうございます。
今年も皆様にとって良いお年となりますようお祈り申し上げます

ご報告 その1 間伐体験ツアーを実施しました

◇日 時：2021年12月4日（土）

19名の方に御参加いただき、中央区の森で間伐体験ツアーを行いました。

8時過ぎに日本橋丸善前を出発。車中では当応援団の会員であり、環境保全ネットワークの会員でもある川名さんから地球温暖化防止に木がどのように役立っているのかについて、ビデオを使いながら説明してもらいました。

中央区の森に到着後は、里山再生塾さんのご指導のもと4班に分かれての作業でした。冬晴れが続いた後だったため足元のぬかるみはなかったものの、急斜面を上りながら適した木を探し、足場を確保しながらの伐採作業は都会暮らしの我々には結構きついものでした。しかし、里山再生塾の皆さんはお年を召した方も身軽に上り下りされていて、さすが日々森に入って保全活動をされている方々は違うものだと感じました。

作業後は、皆で焚火を囲んでのランチタイム。檜原村で仕留めた鹿肉入りの味噌汁（モミジ汁）を堪能しました。木のはぜる音を聞きながら、澄んだ空気の中でいただくお昼ご飯、都会では味わえない最高のごちそうです♪



午後は檜原村に新しくできた焼酎工場とおもちゃ美術館を見学。村役場の坂本さんが同行して下さったため、施設建設の経緯などが良くわかりました。

両施設とも村内産の木を使った木造建築だそうです。木の香りがとても心地良かったです。加えて、おもちゃ美術館では靴を脱いで入館したため、足裏からも木のぬくもりを実感しました。すでに、多くの親子連れが利用していて、楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした。



おもちゃ美術館



おもちゃ美術館



ひのほらファクトリー

ご報告 その2 中央区の森で育ったサステナブル・ツリーを環境情報センターに飾りました

サステナブル・ツリーと名付けたのは、SDGsの目標 15「陸の豊かさを守ろう」、目標 13「気候変動に具体的な対策を」、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」を念頭に置いた企画のためです。

当初は、間伐した杉の上部（材としては利用できない部分）をクリスマスツリーとして飾る計画でしたが、里山再生塾さんが形の良い樅を切り出してくれました。

オーナメントのブーツやサンタは、応援団メンバー有志が折り紙の得意な篠原さんに教えてもらい折りました。その後、市販のオーナメントと組み合わせて飾りつけを行いました。

間伐材を利用したツリーではありませんでしたが、本物の樅の木を使ったクリスマスツリーは存在感があり、来場者「本物ですか?」「はい、檜原村にある中央区の森で育った木ですよ!」などという会話も生まれました。今回のツリー設置に関しては、中央区役所環境推進課様が設置場所の調整をしてくださり、環境情報センター様も展示中の水やりなどで協力いただきました。ありがとうございました。

また、切り出した樅を無駄なく使おうと、剪定した枝をメンバーで持ち帰り、リースやクリスマスの飾り作りしました!



●編集後記●

中央区の森に樅があるとは今回初めて知りました! 樅は暴れやすく建材としては不向きなので切り出すことも無いとか。従って大きく成長して種を飛ばすため、森には結構な数が生えているそうです。

今年も皆様と力を合わせて森の応援団の活動を広げていきましょう。

